

おおふなと

ふれあいネットワーク

社協だより

2017年4月号

【特集】平成29年度事業計画・予算	2~3
サロン助成	4
鯉のぼり子どものつどい	4
水泳教室	5
新規採用職員紹介	5
おしらせ	6~7
輝き人	8



今月の表紙

のだ まこと
野田 慎さん・はるみさん

はると ひまり
陽大くん(6才) 日莉ちゃん(4才)

(大船渡町在住)

震災2日前に生まれた長男が
1年生になりました

誰でも安心して幸せに



生活できる地域社会の構築を目指して

平成29年度事業計画・予算

東日本大震災から6年。被災した家などの建て直しや災害公営住宅への引っ越しが進むなか、新たな住民を受け入れることとなった地域では、地域を見つめ直すことが必要となっています。

また、一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えており、これまで以上に身近な地域での住民のつながりや支えあいなどが大切となっています。

こうした中、大船渡市社会福祉協議会の平成29年度事業計画と予算案は、3月27日（月）に開催した評議員会で、原案どおり認められました。

（基本方針）

- できる限り、自分のことは自分でする生活が続けられるよう、お互いに支えあう地域づくりを進めます。
- 将来にわたり保ち続けることができる地域（まち）づくりに積極的に取り組みます。
- 社会福祉協議会のあり方や事業の見直しに取り組みます。

（重点取組）

1 支えあいまちづくりの推進

（継続）

見守りや何らかの援助を必要とする人や、使えるべき制度が使えずに支援に結びついていない人を危険な状況になる前に発見し、見守りあえる地域づくりを進めます。

- ① 地域助け合い協議会や行政、関係機関・各種団体等との協働・連携
- ② 地域等で独自サロンを開催している団体への支援・助成
- ③ ひとり暮らし高齢者等の安否確認による、見守り支援の強化
- ④ 被災者の生活ニーズに合わせた各種情報発信、訪問活動の継続実施

2 鈴木京子さんまごころ事業の実施

（継続）

被災地の福祉事業に充てて欲しいという鈴木京子さんの思いを大切にし、高齢社会を迎えても元気で安心して生活できる地域づくりを進めます。

- ① 各地区の助け合い協議会活動への支援
- ② 低所得世帯の高齢者の日常生活支援
- ③ 市内の福祉施設等で働きながら国家資格を取得した方への支援

3 生活困窮者自立支援事業・生活

困窮者等就労準備支援事業の実施

（継続）

日常生活におけるさまざまな課題を持つている人の相談に応じ、支援計画を作成して生活の仕方の立て直しを図ります。

- ① 相談窓口の設置、専任職員の配置
- ② 24時間体制での相談対応
- ③ 市内企業と連携した就業訓練

4 子育て支援・人口減少対策（出会い支援）事業の推進

（継続）

子育ての孤立感や不安感をなくし、安心して子育てできる環境づくりを進めるほか、独身男女が参加できるイベントを開催し出会いの場をつくります。

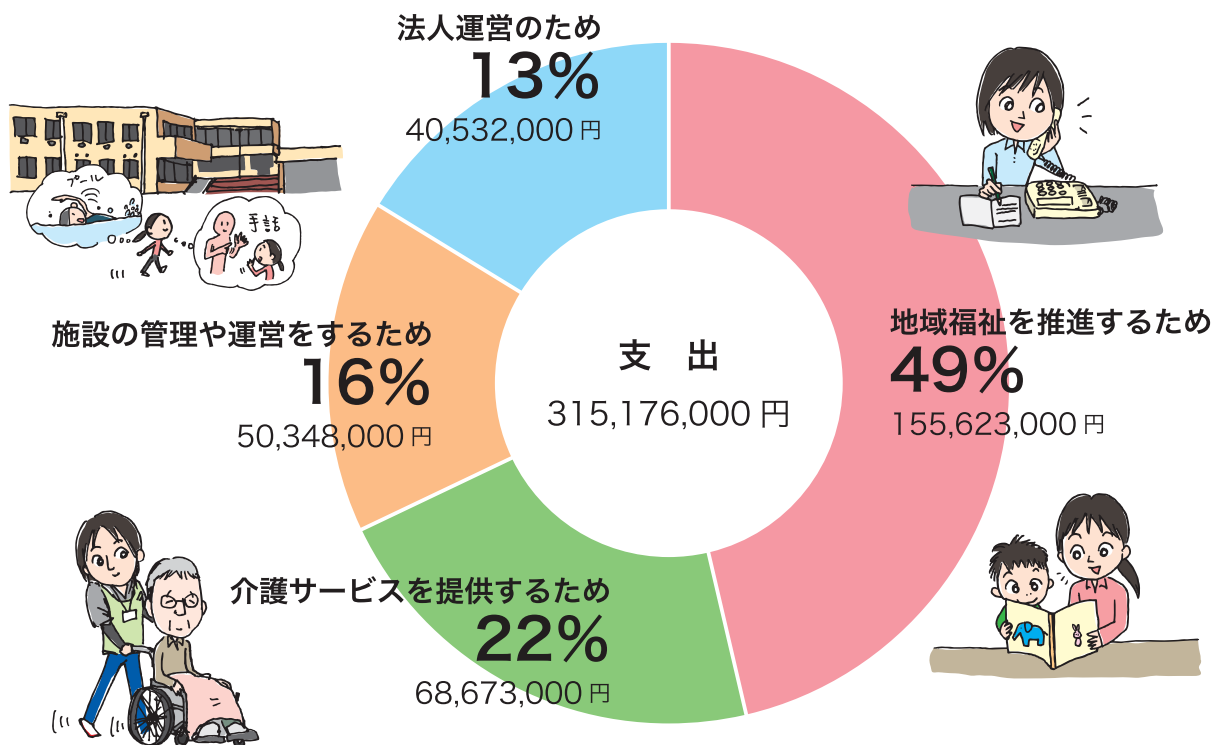
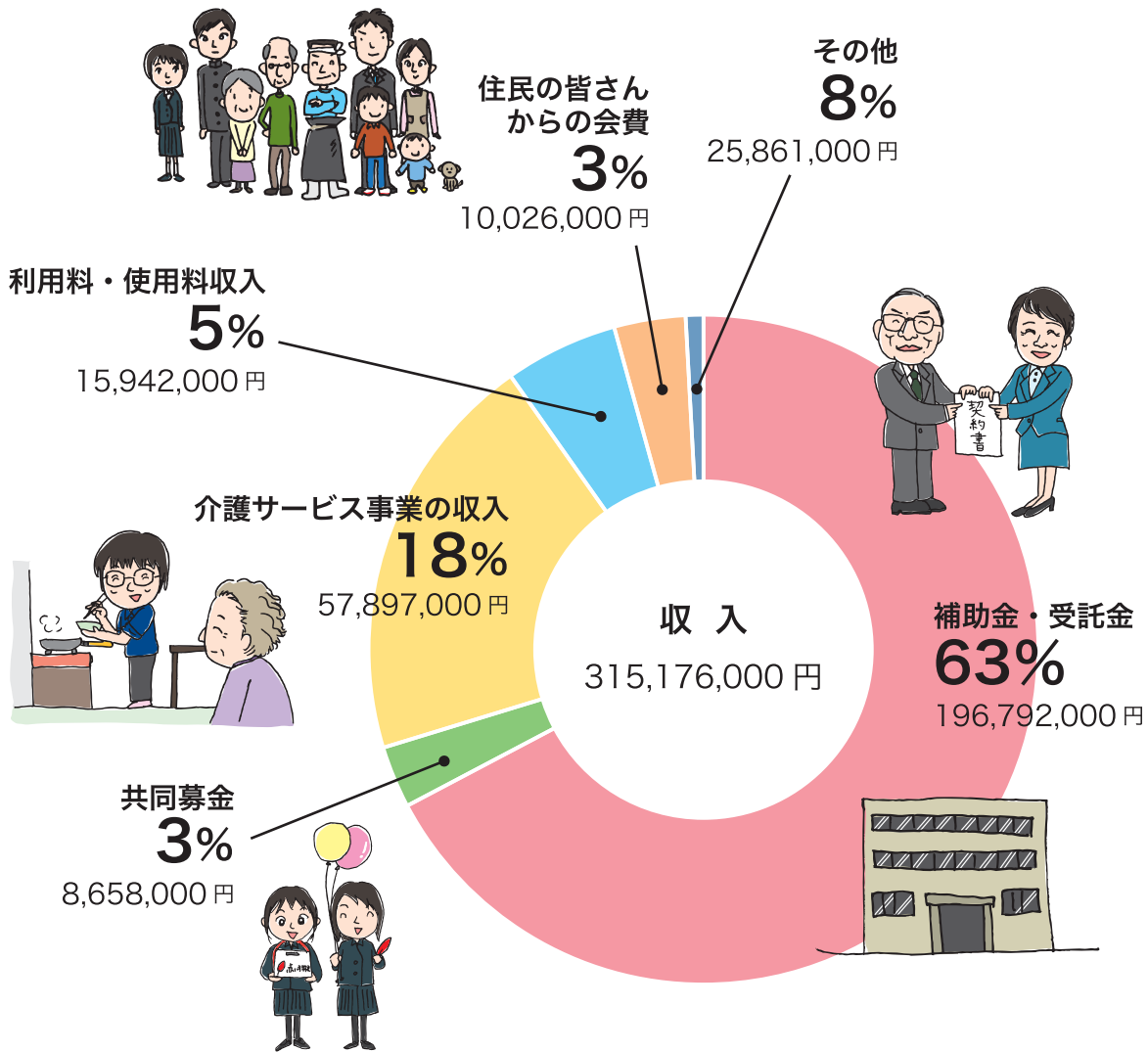
- ① 子育てに関する情報提供や相談対応
- ② 子育て中の親子の交流促進
- ③ 子育てを助け合う会員組織の運営
- ④ 婚活イベントの開催

5 社協の発展に向けた運営基盤の強化

（新規）

これまでにいただいた寄附金の使いみちを決めるほか、必要に応じて会議を開きます。

- ① 「総務・財政委員会」「事業委員会」の委員会の設置
- ② 社会福祉充実計画の策定
- ③ 各種会議、研修会の開催



平成29年度
大船渡支えあい地域サロン活動助成
募集を開始します

東日本大震災から6年が経過した大船渡市では、災害公営住宅への入居や、新たな地域での生活を始められた方が多く、新たなコミュニティづくりが必要となっています。

誰もが地域の中でいきいきと暮らしていけるよう、高齢者や障がい者等を対象としたサロン活動を開催、もしくは開催を考えているグループに対し、下記のとおり助成事業を実施します。



平成28年度助成団体・あかなかサロンの様子

- 1 助成対象
 - (1) 活動期間
平成29年4月1日～平成30年3月31日まで
 - (2) 助成対象
①他の公的助成を受けていないグループ
②各地域の助け合い協議会より助成・補助を受けていないグループ
 - (3) 助成金額
上限5万円
 - (4) 助成対象となる経費
活動資材、消耗品費、会議費、研修費、水道光熱費、サロンの飲食費
- 2 応募方法
 - (1) 募集期間
平成29年4月21日(金)～5月19日(金)
 - (2) 募集方法
事務局で配布する応募書類に必要事項を記入し、事務局へ提出

大船渡でこどもの日といえば…
第50回鯉のぼり子どものつどい

昔ながらの遊びや地域の伝統を伝えながら親子の触れあいを深め、子供たちが健やかに成長することを願い、毎年5月5日に開催している「鯉のぼり子どものつどい」。今回で第50回を数える歴史あるイベントです。

幼児から小学生まで、家族と一緒に楽しみながらふれあいを深められるコーナーを多数用意するほか、今回は50回を記念した新コーナーも用意します。



第49回鯉のぼり子どものつどいの様子

また、ゲームに参加した方、こいのぼりコンテストに出品し、優秀作品に選ばれた方には景品も用意します。

○日時 5月5日(祝)10時～

○会場 岩手県立福祉の里センター交流広場(雨天の場合は福祉の里センター内)

○内容 手づくり鯉のぼり、ぺったん手形、バルーンアート、小麦粉ねんど、伝承遊び、子育て支援団体紹介、フォトスポットコーナー、鯉のウロコゲーム、鯉のぼり紙ヒコキ大会、こいのぼりコンテストなど

〈作品募集〉

こいのぼりコンテストでは、事前に作成した作品も審査の対象となります。材質、大きさ自由。団体・家族の部、個人の部の2部門



入賞した作品を手に記念撮影

第1期水泳教室開講 水中運動で生きがいと健康づくりを

平成29年度の水泳教室が4月11日から順次開講になりました。今期の受講者は延べ223人。7月までの約3ヶ月間、それぞれの目的に合わせて、水泳や水中運動による健康づくりや仲間づくりを行います。

(利用者の声)

伊藤英子さん(盛町在住)
2年前に退職したのを機に水泳教室へ入りました。

最初は、久しぶりの水着と知らない人ばかりの環境に躊躇しましたが、今では、顔なじみの



教室名をリニューアル。気持ちを新たに指導員・参加者ともに活動しています。

仲間もできて楽しく運動できています。

在職中から悩んでいた腰痛も気にならなくなり、こんなに水泳を続けられるとは自分でもびっくりしています。水の中だと人の目を気にせずに体を動かせるので、無理なく、継続できているのだと思います。

佐藤佳代さん(猪川町在住)

約30年前に水泳を始めてからというもの、水泳や水中運動は生活の一部になっています。

普段、肩や膝に痛みがあるのですが、水の中では、その痛みを感じることはないのです、気持ちよく体を動かすことができます。

水泳教室は、みんなと一緒に楽しむのも倍増。水泳教室で運動した日は、心も身体も軽くなったようで、午後からの時間も予定を入れて動くことにしているのです、とても充実した一日を過ごしています。

平成29年度 新規採用職員を紹介します

社会福祉協議会では今年度、19人の新規職員を採用しました。

中でも一番の若手、総務課の佐々木 翔さんに話を聞いてみました。

問 出身は？

答 大船渡市大船渡町です

問 趣味は？

答 芸術鑑賞です。美術館巡りが好きです。

問 抱負は？

答 皆さんと楽しく、笑顔でふれあいながら、地域が活発になるような仕事ができるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いします！



セールスポイントはいつも笑顔でいることです！

*新規採用職員

○総務課主事補 佐々木 翔

○相談支援員 石井 明

○生活支援員 木下 由美子

○生活支援相談員 後藤 春美

” 小笠原 春枝

” 次藤 和美

” 小山 恵

○子育て支援員 佐々木 伸子

” 佐藤 美香

” 古澤 葉子

” 及川 直子

” 佐藤 由香

” 今野 弘美

” 千葉 京子

” 佐々木 みゆき

” 山口 和枝

” 細川 光矢

” 荒井 一恵

このほか、理事 15名、監事2名、評議員35名、職員73名で、「顔の見える社協」を目指し、事業を推進していきます。今年度もよろしくお願いします。

* 寄附・寄贈物品受入報告

復興支援金

3月に、「復興支援金」として、次の方々からご寄附をいただきました。コミュニティの再形成を支援する事業に活用します。ありがとうございました。
古水健吾様、傾聴ボランティア「みみの木」様、田代研三様、古水スエ子様

福祉機器

2月下旬から3月上旬に、福祉機器の寄贈がありました。いただいた物品は、寝たきりの高齢者や障害者がいる世帯の日常生活を支援するために活用いたします。ありがとうございました。
笹野博様（介護用ベッド）、佐々木喜一様（折り畳み式歩行車）、匿名（車いす）

* 共同募金情報

3月に、次の方々から義援金を預かりました。
なお、熊本地震災害募金と台風10号大雨等災害募金の受付は、平成29年3月31日で終了しました。

熊本地震義援金

立根小学校児童会様

台風10号大雨等災害義援金

気仙光陵支援学校高等部生徒会執行部様

* 助成金・支援金情報

故鈴木木京子さん（一関市出身の資産家。平成27年度に、鈴木さんの遺言により、被災地の福祉事業に充てて欲しいと当市のライオンズクラブを介して多額の寄附を受けた。）からの寄附を活用した助成金・支援金の申請を受け付けています。

地域助け合い協議会助成金

高齢者が元気で安心して生活できるまにするための助成金です。
対象団体 地域助け合い協議会（地区版）として大船渡市長が認定している団体
助成対象経費 地域助け合い推進事業に要する経費（給料、手当、賃金その他の人件費、酒類購入費は除く）
助成額 1団体あたり50万円以内
対象期間 平成30年度まで

資格取得支援金

福祉施設等で働いている方々のスキルアップを応援するため支援金です。
対象者 市内の社会福祉施設で働きながら、新たに次の国家資格等を取得した人で、



「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

* 支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。
時間 午前10時から正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)
内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程 (5月)

開催日	会場
9日(火)	碁石コミュニティセンター
10日(水)	崎浜公民館
12日(金)	吉浜地区拠点センター
17日(水)	鷹生公民館
19日(金)	下中井公民館
23日(火)	猪川地区公民館
24日(水)	崎浜公民館
26日(金)	綾姫ホール

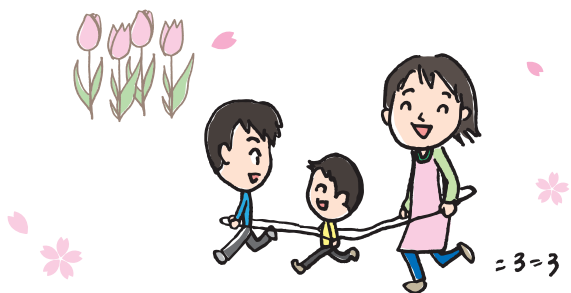
* 子育て関連情報

おでかけひろば 親子でOK

子育て親子の交流の場です。カメラアホールでの「おでかけひろば」は、慢性疾患等で自宅療養中のお子さんや家族が対象です。
時間 午前10時～正午(大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後1時30分～午後3時30分)

おでかけひろば日程 (5月)

開催日	会場
9日(火)	大船渡地区公民館
19日(金)	カメラアホール
24日(水)	カリタス大船渡 地ノ森いこいの家



*大船渡市Y・Sセンター情報

送迎バス時刻の変更について

4月1日から、盛町のサンリア前と大船渡市Y・Sセンター間を往復する送迎バス(定員人)の時刻が変わりました。送迎バスは無料ですので、お気軽にご利用ください。

なお、交通状況等により遅延することがありますのでご了承ください。

送迎車時刻表

サンリア発	Y・Sセンター発
8:45	9:35
9:40	10:35
10:40	11:35
11:40	13:00
13:05	15:00
15:05	16:00

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談は、事前予約の方を優先します。

時間 午前9時～午後4時

介護のしごと相談(5月)

開催日	時間
8日(月)	大船渡市Y・Sセンター
15日(月)	大船渡市Y・Sセンター
22日(月)	大船渡市Y・Sセンター
29日(月)	大船渡市Y・Sセンター

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター・坂本さん、電話 080-8201-0200

資格取得後も引き続き市内の社会福祉施設等で働いている人

- (1) 社会福祉士
- (2) 介護福祉士
- (3) 介護支援専門員
- (4) 作業療法士
- (5) 理学療法士
- (6) 保健師
- (7) 精神保健福祉士
- (8) 保育士
- (9) 看護師
- (10) 准看護師
- (11) 義肢装具士
- (12) 言語聴覚士

支援額 5万円

・高齢者等の日常生活支援助成金

低所得世帯の高齢者等を対象に、草取り等の日常生活を支援するため助成金を交付します。

対象者 大船渡市に住所があり、現に居住している市民税非課税世帯で、次のいずれかに該当する世帯

(1) 75歳以上のひとり暮らしの方または75歳以上の方のみで構成されている世帯

(2) 身体障害者、知的障害者、精神障害者、治療方法が確立していない疾病がある方のうち、18歳以上で、ひとり暮らしまたは同居する方が75歳以上の方のみで構成されている世帯

対象となるサービスの内容 家の周りの草取り、草刈、生け垣や庭木の手入れ

助成額 1世帯につき6,000円(上限)



「ふくし川柳」

課題「雑詠」

富谷英雄選
投句数19句

這えば立て立てば歩めと挑む道
孫たちのこれからの道幸あれと
自己叱咤しながら歩む老いの道
それぞれの道へスタート春の音

吉・千葉 元子
赤・青砥ヒサ子
末・滝田 澄子
立・武田 みつ

《佳作》

散歩道 土筆んぼうも 顔を出し

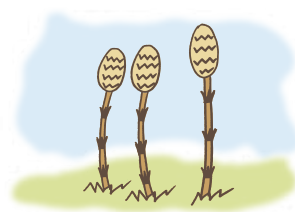
日・佐藤アサ子

(評)「土筆んぼう」という言葉にはなぜか温かみがあり、春の訪れを視覚的にも感じさせるすてきな作品である。

◆平成28年度「年度賞」発表

昨年度、皆さんが投句して「佳作」に選ばれた作品の中から「年度賞」を発表します。

3月号課題「雑詠」武田みつさんの作品『青い鳥探し続けて 現在地』に決まりました。おめでとうございませす。武田さんには賞品を贈呈いたします。



- 5月号課題 「雑詠」
- 締め切り
5月2日(火) **必着**。
1人1句。(自信作をひとつ)はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠 125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

※先月号の作品に誤りがありました。
佐藤アサ子さんの作品
×晴雪が名残惜しいと舞い上がる
○春雪が名残惜しいと舞い上がる
訂正してお詫び申し上げます。

輝き人

たむらひろみ
田村 廣 實さん (77歳)

猪川町在住。「みまもり隊」の一員として、結成当初から、子どもたちの登校を見守るボランティア活動を続けている。



子どもたちの元気なあいさつが原動力

●モデル事業終了後も活動を継続

10年ほど前に猪川町防犯協会が安全安心ステーションモデル事業実施地区の指定を受け、「猪川町みまもり隊」を発足しました。その時に、長谷堂地域でも児童生徒を犯罪や交通事故から守る活動を始めましたが、モデル事業が終了した現在も、継続して活動を実施しています。

●子どもたちの安全と安心を確保するために

「みまもり隊」の活動の目的は、子どもたちの安全と安心を確保することです。月曜日から金曜日までの週5日、子どもたちの登校時間に合わせ、道路の横断が必要なるか所で子どもたちが安全に横断できるように誘導を行っています。メンバーは、仕事を退職した

15人。それぞれに担当曜日と担当場所が決まっており、私は、毎週火曜日に大船渡高校正門前の横断歩道で活動しています。

子どもたちの中には、うつむき加減で「なんだか元気がないな」といった様子の子、転んで泣いている子、鼻血を出している子などもおり、そんな子には、必ず声をかけて送り出すようにしています。

電柱にぶつかりケガをしてしまった子がいたこともありました。すぐに学校へ連絡し、迎えに来てもらいましたが、登校途中に私たちがいることで、子どもたちの安心につながることもあるのではないかと思います。

●あいさつ運動も兼ねた活動

「みまもり隊」の活動は、あいさつ運動も兼ねて実施している

ので、大人である私たちが率先して元気にあいさつをするように心がけています。

下校時に家の前の畑で作業をしていると、子どもたちから、「こんにちは」「ただいま」と声をかけられます。作業の手を止めて「おかえり」と返すのですが、子どもたちの元気なあいさつが何よりも嬉しい。子どもたちの気持ちのいいあいさつが、毎朝の活動を続ける原動力の一つになっています。

●歩行者のことを考えた運転を

見守り隊の活動をしていて気になるのは、車の運転マナーの悪さです。スクールゾーンで30キロ制限の道路だというのに、それを超過して走ってくる車が少なくありません。中には、くわえたばこで走り去っていく車もあります。歩行者、ましてや体の小さい子どもたちにとってスピードの出ている車は怖いもの。もう少し、子どもたちのことを考えた運転をしたいものです。

見つけて Happy

今月の社協だよりの中に、桜以外にも春の花や植物があります。さて何種類あるでしょう？ さがしてみてね！